

令和2年度 学校経営計画書及び学校評価計画書

津幡町立津幡中学校

1 教育目標 「活気あふれる人間性豊かな生徒の育成」

2 学校経営計画（経営理念及び中・長期目標）

（1）経営理念

- ①学校は、基礎・基本の定着と活用力の向上を図り、主体的に学ぼうとする態度を育成する場である。
- ②学校は、組織的な取組で生徒の「人間力（豊かな心）」を育成する場である。
- ③学校は、健康・体力向上への意識を高め、積極的に挑戦する場である。
- ④学校は、安全で美しく整備され、生徒が生き生きと自ら活動できる場である。
- ⑤学校は、地域に根ざし、生徒・保護者・地域に信頼される場である。

（2）中・長期的目標

①めざす学校像

- * 安心・安全で、美しく整備された学校づくり
- * 地域に根ざし、生徒・保護者・地域に信頼される学校づくり
- * 生徒・教職員が生き生きとし、一生懸命に取り組む学校づくり

②めざす教師像

- * 強い使命感と情熱を持ち、生徒をよく観て理解に努め、生かし育てる教師
- * 生徒・保護者・地域に信頼される教師
- * 自ら研修に励み、指導力の向上に努める教師
- * チャレンジ精神を持ち、組織の一員として学校経営に参画する教師
- * 教育公務員として自覚と責任を持ち、多様な価値観にも柔軟に対応できる教師

③めざす生徒像

- * 自主・自律し、社会に貢献できる生徒
- * 思考力・判断力・表現力に富み、創造性豊かな生徒
- * 自らの夢を持ち、その実現のため自ら考え、一生懸命に学習に取り組む生徒
- * 進んで心身を鍛えるたくましい生徒
- * 人の痛みがわかり、思いやりの心を持ち、協力・奉仕できる心豊かな生徒
- * 集団の向上をめざし、責任感があり、規則を守る、礼儀正しい生徒
- * 国際感覚を身に付けるとともに、母校に愛着と誇りを持ち、ふるさとを愛する生徒

3 学校経営ビジョン（短期目標）

魅力のある学校づくり

- * 組織的な学校運営 …… 共通実践の徹底は組織力を最大限に引き出す
- * 人間力の育成 …………… 粘り強さ、挑戦心、我慢する力
- * 質の高い教職員集団 …… 凡事徹底、率先垂範

学校課題

- ①学力向上対策
- ②不登校・いじめ対策

<学校経営の重点事項>

(1) 学力向上に向けた計画的実践

- ① 学力向上に向けた授業改善
 - ・ 学校研究体制と教科部会の強化
 - ・ ICT機器の積極的活用 ★町共通取組項目
- ② 学力向上ロードマップに基づく取組の推進
 - ・ 取組の意味を全教職員で共通理解し、最後までやり遂げる組織集団
- ③ 授業と定期テストの関連意識
 - ・ 付きたい力を意識した授業展開（定期テストの問題作成は1か月前完了）

(2) 生徒指導の充実 自己指導能力の育成

- ① 基本的な生活習慣を高める指導の徹底
 - ・ 時間を守る、無言清掃、元気な挨拶等
→ 時を守り、場を清め、礼を正す
- ② 積極的な生徒指導の推進（自己指導能力を身に付ける場の設定）
 - ・ 一斉道徳の継続実践
- ③ 教育相談の充実（不登校への対応と未然防止）
 - ・ 関係機関との連携・協力

(3) 信頼される学校づくり

- ① 積極的な情報発信と学校公開
- ② 小中連携の推進
 - ・ あいさつプロジェクトの継続実践（校区内6小学校との連携）
 - ・ いじめ根絶等の取組強化
 - ・ 小中連携した英語教育の推進 ★町共通取組項目

<英語検定> 英検3級以上の取得者数 H2目標：35%（対象3年生）

◎令和元年度	3級…25.7%（49人）	準2級…2.1%（4人）
◎平成30年度	3級…17.2%（36人）	準2級…1.9%（4人）
◎平成29年度	3級…13.3%（29人）	準2級…1.4%（3人）

(4) 教員の人材育成

- ① 「若手教員早期育成プログラム」の計画的実践
- ② 「ミドルリーダー育成」の計画的実践（企画力・提案力を鍛える場の設定）

(5) 教職員多忙化改善に向けた取組の推進

- ① 業務の効率化を図るための取組の推進 ★町共通取組項目
 - ・ 時間外勤務時間が月80時間超の教員数減

<R1実績> 1学期平均…45%（県42%）、2学期平均…35%（県28%）

 - ・ 多忙化改善に向けた職員の提案機会の確保
 - ・ 校務支援システムの有効活用法の研究
- ② 部活動練習等の効率化
 - ・ 計画的な休養日の設定